嵯峨嵐山文華館
Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture

PRESS RELEASE

報道関係各位

2026.10
嵯峨嵐山文華館

企画展「いちからわかる竹久夢二」



会期：2027年3月17日（水）－7月11日（日）

前期：3月17日（水）～5月17日（月）　後期：5月19日（水）～7月11日（日）

【主　催】嵯峨嵐山文華館

【後　援】京都府　京都市　京都市教育委員会　京都商工会議所

【会　場】嵯峨嵐山文華館

約170点の作品からひも解く、竹久夢二の魅力
「夢二式美人」からデザイン、音楽まで、初めてでも楽しめる夢二展

大正ロマンを象徴する画家として知られる竹久夢二（1884-1934）。

日本画や水彩画だけでなく、油彩画や楽譜のデザイン、装幀など幅広い分野の作品を手がけました。なかでも、夢二が描いた独特の女性像は「夢二式美人」と呼ばれ、当時の女性たちの憧れとなり、今も多くの人を魅了しています。

本展では、福田美術館が所蔵する旧河村コレクションの竹久夢二作品から、約170点を公開します。夢二を初めて知る方にも楽しんでいただけるよう、「竹久夢二とは？」「夢二式美人ってなに？」といった基本的な疑問に答えながら、夢二の人物像や作品の魅力を分かりやすく紹介します。

展示は「夢二式美人」「夢二の油彩」「夢二と音楽」「夢二のデザイン」「夢二の傑作シリーズ」の5章で構成し、《青春譜》をはじめとする油彩画や、デザイン画などを通して、夢二の幅広い創作活動をひも解きます。また数多くの夢二作品の中でも傑作とされる、水彩画の連作《長崎十二景》《女十題》を一挙展示します。

会期中は、夢二がデザインした楽譜の展示とともに、その曲を聴くことができるQRコードを設置するほか、大正ロマンを存分に楽しめる着物イベントも初めて開催します。

桜のシーズンの京都・嵐山で、大正ロマンの魅力が花ひらく竹久夢二の世界に浸ってみてはいかがでしょうか。

【作品点数】
合計 ：170点
※2026年10月13日現在

大正の女性たちを魅了した、夢二独自の美人像

憂いを帯びた大きな瞳、儚げな表情、細くしなやかな肢体。竹久夢二が描いた女性たちは「夢二式美人」と呼ばれ、大正時代を中心に一世を風靡しました。その装いや佇まいは当時の女性たちの憧れとなり、大いに注目を集めました。

第1章では、夢二のやわらかな筆致によって描き出された、さまざまな女性像を紹介します。「夢二式美人」は、実在の女性をモデルにする中で生まれました。なかでも大きな影響を与えた女性は、妻である岸たまき、早世した笠井彦乃、そして20歳年下の永井兼代(お葉)でした。後期には、夢二がお葉に宛てた手紙も展示します。当時36歳の夢二が16歳の少女に語りかけた言葉からは、彼の一心に寄せた深い情愛が読み取れます。夢二が生涯を通し、女性に対して追い求めた理想の美をご覧ください。



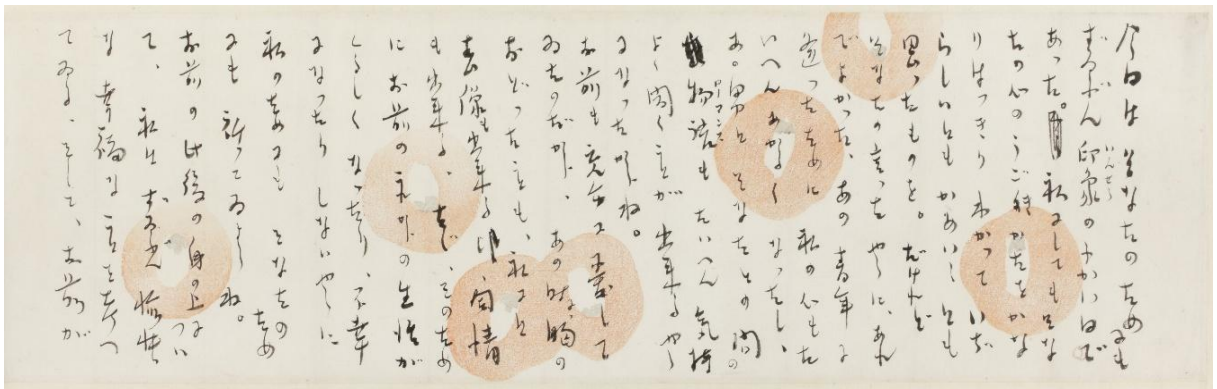
竹久夢二《切支丹波天連渡来之図》（部分）1914年
福田美術館蔵　後期展示



竹久夢二《爪切り》1919年頃
福田美術館蔵　後期展示



竹久夢二《木によれる女》1915年頃
福田美術館蔵　前期展示



竹久夢二《永井兼代(お葉)宛書簡》1919年
福田美術館蔵　後期展示

夢二の油彩代表作《青春譜》など6点を紹介！
画家として追い求めた新たな表現

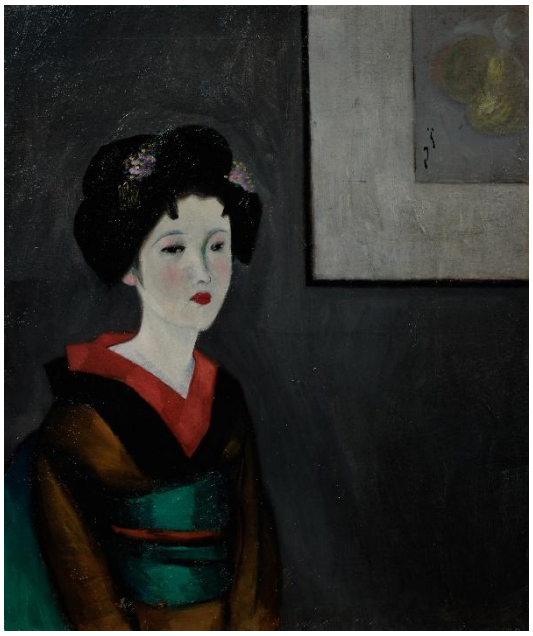
日本画や木版画で人気を博した夢二でしたが、一つの技法にとどまることなく油彩画にも取り組みました。現存する夢二の油彩画は約30点とされ、その数は決して多くありません。しかし晩年には、1931年にアメリカやヨーロッパを外遊し現地で油彩画を積極的に制作するなど、新たな表現への挑戦を続けました。

第2章では、福田美術館が所蔵する油彩画6点をご紹介します。なかでも《青春譜》は描かれた人物や象徴的な「手」のモチーフが深みのある色彩で描かれており、夢二の油彩画の中でも独特な世界観が表現された作品です。本作は、1918年に開催された個展に出品した《SPRING》に加筆したもので、最愛の女性であった笠井彦乃へささげた詩集『山へよする』の口絵《桃樹園》と類似しています。彦乃が亡くなって10年が経った頃に描かれた本作には、彼女への哀悼の意が込められています。

ゴーギャンやムンクなど、ヨーロッパの象徴主義絵画から影響を受けていた夢二が、油彩という表現の中で追い求めたもう一つの世界に注目します。



竹久夢二《青春譜》1930年
福田美術館蔵　通期展示



竹久夢二《黄八丈》1931年頃
福田美術館蔵　通期展示

音楽を「描いた」夢二
楽譜の表紙に広がる豊かな世界

絵画だけでなく、詩や音楽にも造詣が深かった竹久夢二。なかでも、楽譜の表紙デザインは夢二の幅広い創作活動を物語る仕事です。1916年から手がけた『セノオ楽譜』では、300点以上の表紙をデザインしました。

当時の『セノオ楽譜』には、クラシックの名曲や海外の歌曲、日本の流行歌など、さまざまな楽曲が収められていました。夢二はそれぞれの曲に合わせてモダンな色彩や構図、時代を先取りしたレタリングをデザインに取り入れました。また、夢二は古くからの顔見知りである中山晋平の楽譜も数多く手がけました。晋平の生み出したヒット曲は、夢二がデザインした楽譜を通じて世に広まります。本章では、『セノオ楽譜』や『中山晋平作曲全集』の貴重な表紙原画を楽譜とともに紹介します。

展示室では、夢二が表紙をデザインした楽譜の曲を聴くことができるQRコードを設置し、作品を目で見るだけでなく、音楽とともに楽しめます。



竹久夢二《セノオ楽譜No.44「蘭燈」》
1921年
福田美術館蔵　前期展示



竹久夢二《中山晋平・新民謡XII
「西尾小唄」原画》1929年頃
福田美術館蔵　後期展示



竹久夢二《中山晋平曲「童謡小曲」
第十五集 原画》1930年
福田美術館蔵　前期展示

夢二が生み出した、大正時代の「カワイイ」デザイン

1914年、夢二は東京・日本橋に、自らデザインした日用雑貨や小物などを販売する「港屋絵草紙店」を開店しました。千代紙や封筒、便箋など、夢二が手がけた商品は特に若い女性たちの人気を集め、店は連日、多くの客でにぎわったと言われています。夢二は、現代でいうところの時代を象徴するデザイナーだったのです。

本章では、少女雑誌の原画や千代紙、装幀本など、夢二が手がけたさまざまなデザインに注目します。大正時代の女性たちを魅了した夢二独自の美意識が息づいたデザインは、時代を超えて「カワイイ」と感じられる大正ロマンの魅力が溢れています。



竹久夢二《初春》1926年
福田美術館蔵　通期展示



竹久夢二《人形（つばめの来る頃）》
1916年頃
福田美術館蔵　前期展示



竹久夢二《旅》1931年
福田美術館蔵　前期展示

前期には夢二にとって特別な屏風作品《旅》を展示します。一見すると少女と犬の愛らしさが目を引く本作ですが、実は晩年の夢二が自身の理想を描いたものとされています。描かれた男性は、理想化された彼自身、女性は夢二の最愛の人・笠井彦乃と見られ、夢二はこの「たったひとりの少女との静かな生活」を夢見ていたと言います。背景に描かれているのは群馬県の榛名山で、夢二が同地に「榛名山美術研究所」の設立を計画していたこととも関係しています。

夢二と永見徳太郎の交流が生んだ、二つの傑作

夢二は、旅先で出会った風景や人々から創作のインスピレーションを得て、多くの作品を生み出しました。なかでも長崎を訪れた際には、異国情緒あふれる街並みや、そこで暮らす人々の姿に心を惹かれ、その印象を画面に留めています。夢二を迎え、創作活動を支えた文化人が、南蛮美術の収集家として知られる永見徳太郎です。永見は自宅に夢二を滞在させて長崎を案内し、親交を深めました。本章では、永見に贈られた水彩画の連作《長崎十二景》と《女十題》を前後期に分けて一挙公開します。

前期に展示する《長崎十二景》は、長崎に生きる女性の姿を、異国情緒のある風景やストーリー性のある場面とともに描いています。後期では、《長崎十二景》の翌年に制作された《女十題》を展示します。本作では、女性の日常を切り取ったシーンを、装いや仕草、表情などで細やかに描き分けています。

本展は、夢二の最高傑作である水彩画の連作を、一堂に見ることができる貴重な機会です。2025年には坂東玉三郎特別公演において《長崎十二景》をもとに制作された舞踊劇が上演されるなど、今なお愛され続けている、時代を超えても色褪せない夢二の世界をご堪能ください。



竹久夢二《女十題　黒猫》1921年
福田美術館蔵　後期展示



竹久夢二《長崎十二景　眼鏡橋》1920年
福田美術館蔵　前期展示

【会期中のイベント①】
①講演会「定家は掛詞が好きらしい」
日時：2027年3月20日(土)13:30～14:30

②講演会「百人一首かるたの様々」
日時：2027年6月5日(土)13:30～14:30

講師：吉海直人（同志社女子大学名誉教授）

【会期中のイベント②】
「きものめぐる貸切展示ツアー＆カフェタイム」
日時：2027年4月3日(土)16:30～
料金：3,500円
定員：20名
予約方法：楽天トラベル観光体験にて受付
（2月1日(月)より発売予定）

プレス用画像

※広報用画像は以下の申請フォームよりダウンロードいただけます。
https://tayori.com/f/ichikarawakaruyumeji



竹久夢二《庭石》
1919年　福田美術館蔵
後期展示



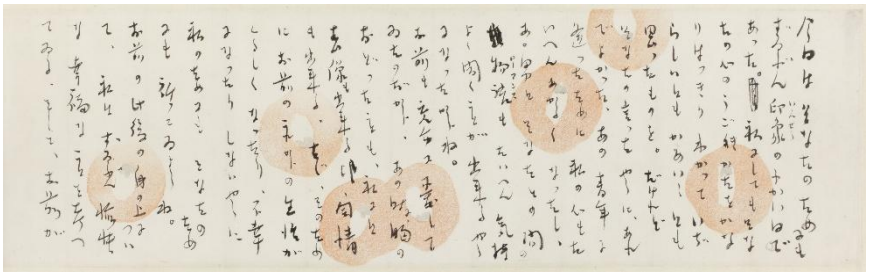
竹久夢二《切支丹波天連渡来之図》
1914年　福田美術館蔵
後期展示



竹久夢二《爪切り》1919年頃
福田美術館蔵　後期展示



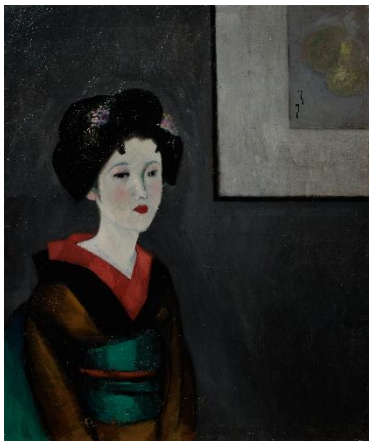
竹久夢二《木によれる女》1915年頃
福田美術館蔵　前期展示



竹久夢二《永井兼代(お葉)宛書簡》
1919年　福田美術館蔵　後期展示



竹久夢二《青春譜》1930年
福田美術館蔵　通期展示



竹久夢二《黄八丈》1931年
福田美術館蔵　通期展示



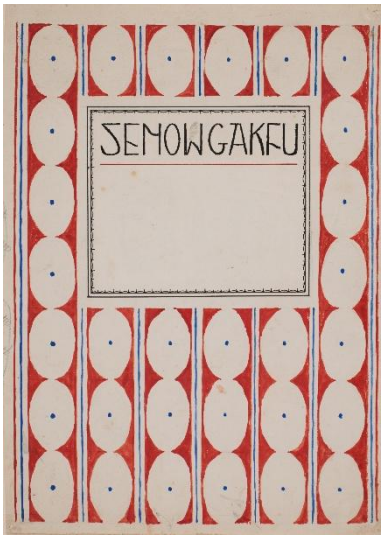
竹久夢二《セノオ楽譜No.44「蘭燈」》
1921年
福田美術館蔵　前期展示

プレス用画像

※広報用画像は以下の申請フォームよりダウンロードいただけます。
https://tayori.com/f/ichikarawakaruyumeji



竹久夢二《中山晋平・新民謡XII
「西尾小唄」原画》1929年頃
福田美術館蔵　後期展示



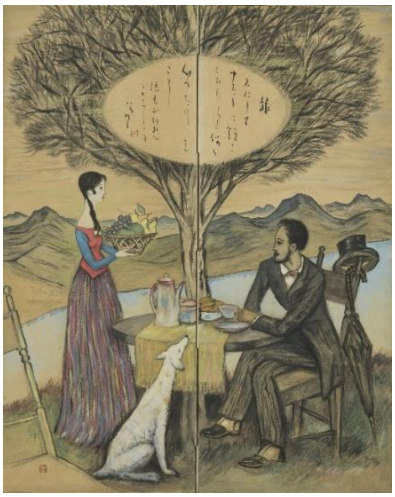
竹久夢二《セノオ楽譜表紙原画
楕円に点》1924年
福田美術館蔵　前期展示



竹久夢二《中山晋平曲「童謡小曲」
第十五集 原画》1930年
福田美術館蔵　前期展示



竹久夢二《初春》1926年
福田美術館蔵　通期展示



竹久夢二《旅》1931年
福田美術館蔵　前期展示



竹久夢二《糸まき》制作年不詳
福田美術館蔵　前期展示



竹久夢二《レイちゃんの目覚め》1926年頃
福田美術館蔵　前期展示

プレス用画像

※広報用画像は以下の申請フォームよりダウンロードいただけます。
https://tayori.com/f/ichikarawakaruyumeji



竹久夢二《人形（つばめの来る頃）》1916年頃
福田美術館蔵　前期展示



竹久夢二《長崎十二景　ネクタイ》1920年
福田美術館蔵　前期展示



竹久夢二《長崎十二景　青い酒》1920年
福田美術館蔵　前期展示



竹久夢二《セノオ楽譜No.53「歌劇 椿姫」》
1927年
福田美術館蔵　後期展示



竹久夢二《女十題　産衣》1921年
福田美術館蔵　後期展示



竹久夢二《女十題　黒猫》1921年
福田美術館蔵　後期展示

展覧会概要

■企画展名　いちからわかる竹久夢二

■会　　期　2027年3月17日（水）～7月11日（日）
前期：3月17日（水）～5月17日（月）
後期：5月19日（水）～7月11日（日）

■開館時間　10:00～17:00（最終入館 16:30）

■休　　館　4月13日（火）、5月18日（火）、6月15日（火）

■主　　催　嵯峨嵐山文華館
■後　　援　京都府、京都市、京都市教育委員会、京都商工会議所

■アクセス　〒616-8385 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11
JR山陰本線（嵯峨野線）「嵯峨嵐山駅」下車徒歩14分
阪急嵐山線「嵐山駅」下車徒歩13分
嵐電（京福電鉄）「嵐山駅」下車徒歩5分

■料　　金

一般・大学生	高校生	小・中学生	その他
1,000（900）円	600（500）円	400（350）円	＊障がい者と介添人1名まで各600（500）円 ＊幼児無料 ＊（　）内は20名以上の団体料金

プレスリリース／広報用画像に関するお問合せ

嵯峨嵐山文華館広報事務局（共同ピーアール内）
担当：田中、広岡、折笠
TEL： 03-6264-2045　Email：samac-pr@kyodo-pr.co.jp

一般の方からのお問合せ

TEL：075-882-1111（嵯峨嵐山文華館事務局）
お問い合わせフォーム： https://www.samac.jp/contact